

## ①七滝地区 【水土里ネット七滝】

# 2014七滝「水の森」植樹

美郷町が主催した植樹事業が七滝水源涵養保安林にて行われました。本植樹は、美郷町の水源地となっている大切な地域の森林涵養を維持するとともに、その役割と機能を再認識し、豊かな「水の森」を未来へ継承していくために行なわれています。

植樹前、美郷町住民活動センターにて「森林のはたらき」と題して学習会を行いました。学習会では、森林の多面的機能やブナの保水力等を参加者へ説明し、森林の働きの大切さを参加者へ訴え、植樹に対する理解を深めてもらっています。

続いて、七滝保安林に移動し、昨年度植樹した苗木に育樹作業を実施しました。子供たちは一生懸命苗木へ肥料を打ち込みました。その後、参加者全員でブナの苗木を手に取り、スコップなどを使い丁寧に200本を植樹しました。

最後に、参加者全員で「育てブナの木」と呼び掛け、今後の成長を祈願しました。



活動体制	
実施主体	美郷町
後援・連携	仙北地域振興局農林部、社団法人東京生薬協会、日本航空株式会社、秋田県七滝土地改良区
実施期間	6月30日
参加者	美郷町内全小学校4年生、保護者、美郷町民 200名
報道関連	秋田県HP、美郷町HP、広報誌七滝
活動実施年数	7年目（H20年～）
連絡先	〒019-1404 仙北郡美郷町六郷字米町29 秋田県七滝土地改良区 TEL. 0187-84-2137
その他	さなえ賞（H22）緑化推進運動内閣総理大臣賞（H26）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット七滝（藤岡 義博）					
○活動の目標及び達成率	目標	広葉樹の働きと水の生成の仕組みを認識してもらう			
	達成率	90%			
○活動に対する評価	参加者へ森林の多面的機能と水の生成の仕組みを認識してもらうと共に理解も深めてもらうことが出来た。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	B	行政との連携により毎年恒例の行事として定着している。
①役職員・組合員の参加	B	総代・組合員から参加を得られるようになってきた。	③運動の計画性	B	水源涵養林を所有し管理もしていることでのPRが出来た。
②後継者育成の工夫	B	各種研修会へ職員が参加しスキルアップに努めている。	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	A	役職員が一丸となり運動へ積極的に取り組み、役員は機会あるごとに総代や組合員へ運動の啓発をしている。
①基本理念の設定	A	植樹で地域自然の素晴らしさを感じ、水土里の役割を子供たちが理解し、子供から家族、地域住民へと伝えてもらっている。	b. 地域農業	B	水源涵養林から湧き出る水が農業に欠かせないものだ伝えていく。
②地域の歴史等の伝承	A	水源涵養林をPRすると共に水源地の理解を深めてもらっている。	c. 地域コミュニティー	A	各種団体との連携の強化。
③運動の先駆性	B	他の手本となるよう取り組んでいる。	d. 地域資源管理	B	水土里ネットの役割を認識してもらう機会となった。
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	小学校の要望も取り入れた運動を行い、経費も出来るだけ抑えている。	・活動を継続していく。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他